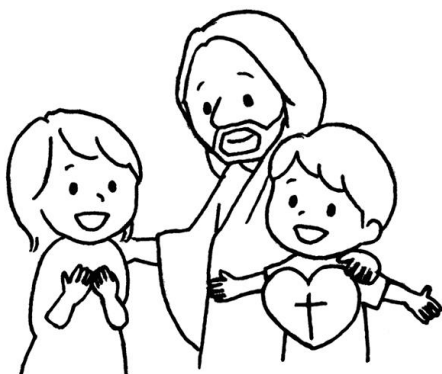


しんきゅうしき
進級式



せいしよ マタイ 28・16～20
てーま 共におられるとの約束
あんしょうせいいく 暗唱聖句 見よ。わたしは世の終わりまで、
いつもあなたがたとともにいます。
もく 目 標 マタイ 28・20
共におられるキリストを覚え、
せんきよう 宣教に遣わされる者となる。

4月7日(日)

せいしよ マタイ 28・16～20
せいいく 聖句 見よ。わたしは世の終わりまで、いつ
もあなたがたとともにいます。20節

しんきゅうしき にゅうがくしき こんしゅう
進級式や入学式は、今週なのでしょうね？
あつかつ 復活のイエス様がいっしょにいて下さるので、
こころづよ 強いですね！ どんなまいにち 毎日だったでしょう？
あつかつ 復活のイエス様といっしょだから大丈夫
だったでしょう？ 今日も力強いイエス様のみ
ことば やくそく 言葉の約束をにぎって、あたらしいいっしゅうかん 始め
ましょう。イエス様は、「天においても地におい
ても、すべての権威が与えられています」お方。
そう、ぜんうちゅう いちばんづよ 全宇宙で一番強いお方なのです！ だって、
し 死の力を打ち破られたのですから。そのお方が
よ 世の終わりまで、いちにちいちにち 一日一日、すべての日、いっ
しょにいてくださいます。

いの 祈り 天のお父様、復活されたイエス様が毎日
ともにいてくださり感謝です。イエス様
のことを伝えていけますように。

4月8日(月)

せいしよ マタイ 1・18～23
せいいく 聖句 見よ、処女が身ごもっている。そして
おとこ 男の子を産む。その名はインマヌ
エルと呼ばれる。23節

マタイはその福音書を、「神様がともにおら
れる」で始め、「ともにおられる」で終わってい
ます。その中にも「ともにおられる」のメッセー
ジを入れました。イエス様のお名前がイザヤの
よげん 預言では『インマヌエル』と記されています。
これはヘブル語で、訳すと「神が私たちとと
もにおられる。」という意味なのです。そもそ
もイエス様ご自身が神様であって人となられ
た、神とともにいますお方。そして、その神様が
わたし 私たちとともにいてくださるという感謝な
なまえ 名前です。

いの 祈り 天のお父様、インマヌエルというお名前の
すく 救い主イエス様が、いつもどんなとき
にもいてくださってうれしいです。

4月9日(火)

せいしよ マタイ 18・15～20
せいいく 聖句 二人か三人がわたしの名において集
まっているところには、わたしもその
なかにいるのです。20節

わたしたちがお祈りできるって、すごいこと
ですね。二人がどんな願い事についても地上で心
を合わせてお祈りしたら、天にいますイエス様
の父なる神様がそれをかなえてくださるとい
うのです。そして、ふたり 二人でもさんにん 三人でもイエス様の
なまえ 名前によって集まっている所には、「わたし
もその中にいるよ」とイエス様がおっしゃって
います。本気でお祈りしてみませんか。だれか
と集まるなら、イエス様もそこにいてくださ
います。きよいあつ 集まり！ いいですね。

いの 祈り 天のお父様、二人でも三人でもイエス様
のみ名であつ 集まるなら、インマヌエルの主
がその中にいてくださり、感謝です。

4月10日（水）

聖書

マタイ 28・16～20

聖句

見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。

20節

日曜日に読んだのと同じ聖書の個所で、同じ暗唱聖句です。覚えていますか？ もう見ないで言えますか？ マタイはこのようにして、最後にも「わたしはともにいる」とインマヌエルでしめくくっています。特にどんな時かと言うと、「あらゆる国の人々を弟子とせよ」「バプテスマを授け」とあるように、インマヌエルの主の福音を宣べ伝える時です。お友だちにイエス様のこと、教会のことを話すのは勇気があるよね。そう、その時！ とともにいてくださるのです。

祈り

天のお父様、素晴らしいイエス様を伝えようとする時、特に「わたしはともにいる」とのお約束で励まされます。

4月11日（木）

聖書

マルコ 16・14～18

聖句

全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。 15節

オー！ 復活のイエス様からの、ものすごいご命令だなあって思いませんか？ 全世界に出て行きなさい、すべての造られたものに、イエス様の十字架と復活による救いの福音を宣べ伝えなさいというものです。なぜって、世界中の人が救われなければならないからです。日本人だけでなく、全世界のどんな国の人でもあります。だからすべての造られた人に伝えなければなりません。すぐ隣りの人もそうです。お家の人もです。将来宣教師になっていく人もあるかもね。

祈り

天のお父様、造られたすべての人、全世界の人が必要な福音を、わたしも信じられて感謝です。伝える人にならせてください。

4月12日（金）

聖書

マルコ 16・19～20

聖句

主は彼らとともに働き、みことばを、それに伴うしをもつて、確かなものとされた。 20節

イエス様は、「行きなさい」と言われるだけではないことが、ここでわかりますね。弟子たちは言われたとおりに出て行って、いろんな所で、どんどん福音を宣べ伝えました。使徒の働きにも書いてあるし、多くの宣教師物語を読むとわかります。その時、「主は彼らとともに働き」と書いてあるとおりに、たしかに生きておられる復活のイエス様が、弟子たち、宣教師たちとともに働いてくださって、多くの実が結ばれてきたのです。今も主は働かれます。

祈り

天のお父様、今や全世界にいろんな形で福音が伝えられていて驚きです。わたしも、小さくても伝えさせてください。

4月13日（土）

聖書

Ⅱテモテ 4・1～8

聖句

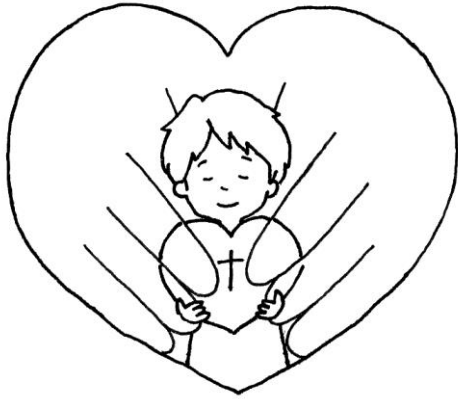
みことばを宣べ伝えなさい。 2節

大迫害者サウロ、そのサウロが復活のイエス様と出会って、とらえられて大伝道者パウロに、見事、変身！ イエス様の愛にパンパンに満たされて、遠く広く、ヨーロッパにまで福音を伝えました。命がけの3回の伝道旅行でも復活のイエス様がいつもパウロとともにおられました。

地上のお仕事もう終わりそうと、愛弟子テモテに最後のお手紙を書きました。「みことばを宣べ伝えなさい」と。みことばとともに聖霊が働いてくださいます。みことばカードを配りましょうか。

祈り

天のお父様、すべての人が必要なのは命のみ言葉です。お祈りしてカードを人々に配ります。祝福して用いてください。



聖書 ルカ 3・15～22
 テーマ イエスの受洗
 暗唱聖句 あなたはわたしの愛する子。わたしはあなたを喜ぶ。

ルカ 3・22

目標 神が遣わされた御子キリストを信じ、従う者となる。

4月14日（日）

聖書 ルカ 3・22

聖句 あなたはわたしの愛する子。わたしはあなたを喜ぶ。 22節

神様の愛をひとりじめできるほどに愛されていたイエス様。でもね、「あなたはわたしの愛する子」という神様の言葉は、あなたへの言葉でもあるんだよ。

それは、人が神様からうけるはずの罰を、イエス様が代わりに受けてくださったから。

愛されなくて当たり前人間が神様に愛されるために、イエス様が十字架の上で神様に捨てられたから。あなたはこれを信じますか？

あなたはそれほどまでに、神様に愛されているんだね。神様、ありがとう！ イエス様、ありがとう！

祈り 天のお父様、イエス様を十字架につけてまで、わたしを愛してくださったことを感謝します。

4月15日（月）

聖書 ルカ 3・15～16

聖句 人々はキリストを待ち望んでいたの
 で… 15節

この時代のユダヤの国は、ローマという大きな国に支配されていました。ユダヤ人たちは、この苦しい支配から解放してくれる、力のある救い主を待ち望んでいました。神様は、聖書に予言されていたとおりに、イエス様を人々のために与えられました。でもそれを理解できる人はそんなにたくさんはいなかったのです。

どの時代もみんな、自分の理想どおりの王様、救い主を求めます。そして、理想とちがうと感じたらかんたんに捨ててしまうのです。

あなたは神様がなぜイエス様をあなたのためにくださったのか、心から理解し、うけ入れていますか？

祈り 天のお父様、いつまでもあなたを信じる心を持ち続けられますように。

4月16日（火）

聖書 ルカ 3・16

聖句 その方は聖霊と火で、あなたがたにバプテスマを授けられます。 16節

ヨハネもこの時代、神様のために力強く働いた人でした。たくさんの方が、罪を悔い改めて、神様にしっかり心を向けるための洗礼を受けたのです。けれども、ヨハネは、自分は本当の救い主の前ではどれい以下だと言うのです。

そう、本当の救い主は、神様に心を向けた人には聖霊を満たすことができるお方！

聖霊に満たされたとき、人はイエス様の力でいっぱいになって、神様のために喜んで働く人になるのです。あなたもね！

祈り 天のお父様、わたしもイエス様の力でいっぱいになって、あなたのために喜んで働けますように。

4月17日（水）

聖書

聖句

ルカ 3・17

麦を集めて倉に納められます。そして、穀を消えない火で焼き尽くされます。
17節

神様はね、イエス様にしかできないことを、教えてくれているよ。

それは天国のこと！人はだれもがこの人生を楽しんで生き、人生が終わったあとも楽に天国に行けると思いたいのです。でもね、天国のことは聖書にしか書いていないこと、自分の力でなくイエス様を救い主として信じる人だけが行けること、それははっきりとしたことです。

天国に行きたいと思っている人はたくさんいても、イエス様を知らない人がほとんどでしょうね。そんな人を教会にさそってあげられるあなたでいてくださいね。

祈り

天のお父様、みんなが聖書にある天国のことを知ることができますように。

4月18日（木）

聖書

聖句

ルカ 3・18

ヨハネは、ほかに多くのことを勧めながら、人々に福音を伝えた。
18節

何か一つのことを深く知れば知るほど、そのことに詳しくなって、説明することができるようになるでしょ？ きっとヨハネも、イエス様のことを深く知っていて、また聖書に予言されている救い主だということもよくわかっていたんだね！

イエス様をだれかに教えてあげたいとき、福音のこと、よく知っておきたいね！ それは、イエス様が人の罪の身代りに十字架についたこと。死んで葬られたこと。よみがえって天に昇り、今も生きておられ、聖霊によってわたしたちといっしょにいてくださることだよ！

祈り

天のお父様、もっと深くイエス様と、聖書のことを理解させてください。

4月19日（金）

聖書

聖句

ルカ 3・19～20

すべての悪事にもう一つ悪事を加え、ヨハネを牢に閉じ込めた。
20節

自分のしている悪いことを注意されたとき、人はどんな態度をとるでしょう？ 反省するかな？ それとも逆ギレしちゃうかな？

ヘロデ王は、まるで自分は悪くないどころか、悪いのはおまえのせいだと言わんばかりの態度をとった人でした。

悔い改めの人生というのは、人のせいにして生きることでも、自分の人生をざんねんがって生きることでもなく、生き方を神様に喜ばれるように変えていくこと！

あなたはどうか？

祈り

天のお父様、人から注意されるようなことがあったら、すなおに自分のしたことを変えていきますように。

4月20日（土）

聖書

聖句

ルカ 3・21～22

イエスもバプテスマを受けられた。そして祈っておられると、天が開け、聖霊が鳩のような形をして、イエスの上に降って来られた。 21～22節

神様に自分から近づくことなんてできない罪深い人間のために来られ、「あなたのそばにいますよ」とイエス様の生き方は教えてくれます。そして、そばにいてくださるどころか、その命をあなたのために捨ててくださったのです。

バプテスマを受けること、聖霊を受けること、神様を愛すること、お祈りすること、赦すこと、だれかのそばにいて助けること、人のために生きること…イエス様はあなたにもなってほしいと願われているんだよ。

祈り

天のお父様、イエス様がしてくれたことに、少しでもならえますように。



聖書 ルカ 4・1～13
 テーマ 荒野の誘惑
 暗唱聖句 人はパンだけで生きるのではない。
 ルカ 4・4

目標 御言葉に立って悪魔の誘惑を退けられたキリストにならう者となる。

4月21日(日)

聖書 ルカ 4・4
 聖句 人はパンだけで生きるのではない。
 4節

おなかがすいたときに「食べたいな」と感じたり、眠いとき「ねたいな」と思うように「～したい」という気持ちは、人が生きていくために必要なことだし、神様がみんなにくれたプレゼント！ でもね、「～したい」は正しく使わなかったり、コントロールできないと、食べすぎたり、寝すぎたり、遊びすぎたりして、健康に悪い影響を与えてしまうこともあるんだ。

イエス様はね、人が人らしく、しあわせに生きていくために、なくてはならないものは「神様の言葉」だと教えてくれたよ！

祈り 天のお父様、わたしが健康でしあわせに生きるために、あなたの言葉があることをありがとうございます。

4月22日(月)

聖書 ルカ 4・1～2
 聖句 御霊によって荒野に導かれ、四十日間、悪魔の試みを受けられた。
 1～2節

イエス様は神様のテストを受けました。神様のひとり子キリストとして、悪魔に勝てるかが、この時の問題だったんだね！

ちょうど学校でテストをしているときに、100点を取らせないようにだれかに邪魔されるように、神様の喜ばれることをしようとしている人に悪魔がやってきて邪魔をするときがあります。

でもね、そんなときは「これは誰からのテスト？」と考える必要があるね。そう、悪魔に勝ってこそ、神様に喜ばれるんだって！

祈り 天のお父様、悪魔に勝つことができるイエス様の信仰をください。イエス様からもっとたくさん学べますように。

4月23日(火)

聖書 ルカ 4・3～4
 聖句 あなたが神の子なら、この石に、パンになるように命じなさい。 3節

イエス様は、弱った人を強くし、嵐をしずめる力のあるお方でした。だから、こんなことはかんたんに出来るはず。でもね、イエス様はその力を、自分のためには使いませんでした。

世界のさいしょにアダムとエバが、悪魔の誘惑で負けたときは、神様との約束よりも、自分たちの「～したい！」が大事に思えちゃったんだってね。まるでわたしたちのよう！

イエス様は悪魔に勝つことで、神様によって生きること、力は自分のためではなく神様のために使うものであることを、教えてくれたね！

祈り 天のお父様、自分の思い通りにでなく、あなたのために力を使うことを学べますように。

4月24日（水）

聖書 ルカ 4・5～7

聖句 もしあなたが私の前にひれ伏すなら、すべてがあなたのものとなる。
7節

人の心は、物で満たされることはなく、一度手に入れると次のもの、また次と、どんどん欲深くなるものです。でも、どんなお金持ちも、頭のいい人もそれで幸せ？ いえ、かえって、いつも心のどこかにポツカリと穴が空いているって。

なぜって、そういう「楽しみ」を悪魔はじょうずに使って、神様がくれるほんとうの幸せと引き換えにしているからなんだ。

神様しか与えられないものをたいせつにするとき、心の穴は消えて、心に本物の安心とよろこびがくることを知っててください。

祈り 天のお父様、あなたがくださる幸せをもっとたいせつにできますように。

4月25日（木）

聖書 ルカ 4・8

聖句 あなたの神である主を礼拝しなさい。
主にのみ仕えなさい。 8節

お友だちがいっぱいできる人生、お金がたくさん手に入る人生、有名でなにも不自由なんてないように見える人生…。もしそのようになったとしても、神様の愛を知らない人生、天国を知らない人生、たった100年の地上での幸せとひきかえに、永遠の命と天国という祝福を失ってしまう人生ならば、さびしいものだね。

だけど、多くの人は、神様よりもお金や地位や恋やほかのことしか見ようとしません。

あなたはどうか？ なにをまず一番にし、たいせつにし、なにに仕える人生を生きたいですか？

祈り 天のお父様、目の前の幸せよりも永遠のことや、あなたのことを思う人生を歩めますように。

4月26日（金）

聖書 ルカ 4・9～11

聖句 あなたが神の子なら、ここから下に身を投げなさい。 9節

聖書の言葉をおぼえるとき、どんなふうにおぼえますか？ いっぱいおぼえるのもたいせつなこと。でも、それがどんな意味で書かれたのか知らないなんてこと、あるよね！？

悪魔のずるいところは、聖書の言葉であっても、上手に使うと人をだまそうとすること！ あなたがまちがって聖書のことばを使うように、笑いながらそっと心にささやくのです。

だからこそ、ちゃんと理解すること、正しくおぼえること、聖霊に助けてもらうことが必要なんだね！

祈り 天のお父様、勝手に聖書を理解するのではなく、どんな意味なのか理解できるように、助けてください。

4月27日（土）

聖書 ルカ 4・12～13

聖句 あなたの神である主を試みてはならない。 12節

「神様なんだからこれくらいのこと、わたしにはしてくれるよね！ ゆるしてくれるよね！」…ついにはとうとう「こうなったのは神様のせい！」なんてこと、ないかなあ？

神様はね、地上で人生をよりよく生きられるように、聖書の言葉から知恵を与え、人生の道や目的を示してくださるよ。でもね、選んで取るのも、生きていくのも、あなた。

あなたの地上の生き方や考え方や、神様は見えておられるよ。イエス様が地上で悪魔と戦って勝ったように、十字架という目的まで歩き切ったように、あなたにも人生を力強く歩んでほしいと願われているんだよ。

祈り 天のお父様、イエス様のように、力強く人生を歩みきる力をください。



聖書 ルカ 5・1～11
 テーマ 弟子への招き
 暗唱聖句 彼らは舟を陸に着けると、すべてを捨ててイエスに従った。

目標 自分の無力と罪深さを覚え、キリストに従う者となる。

4月28日（日）

聖書 ルカ 5・1～11
 聖句 彼らは舟を陸に着けると、すべてを捨ててイエスに従った。 11節

漁師さんたちとは、何をする人たちでしょう？
 ハイ、お魚を捕る人たちです。その通り！
 ところが、このゲネサレ湖畔で漁をしていた漁師さんたちは夜通し働いたのに、何も、一匹の魚も捕れなかったのです。お手上げ状態でした。
 ところがイエス様のひとこと、「深みに漕ぎ出し、網を下ろして魚を捕りなさい。」の通りにしたら…オーッ、大漁！「人間を捕る漁師になるのだ」とまたイエス様から言われて、漁師さんたちはイエス様に従いました。

祈り 天のお父様、漁師たちは何と素晴らしいお方に出会ったことでしょう！わたしも彼らのように主に従います。

4月29日（月）

聖書 ルカ 5・1～2
 聖句 漁師たちは舟から降りて網を洗っていた。 2節

「アーラ！ いい所でお会いしましたねエ」って、人との出会いというのは決して自分で計画したり、計算して与えられるものではありませんね。イエス様のお話が聴きたくて聴きたくて、群衆、そう、たくさんの人々がイエス様のところに押し寄せてきたのです。ついにゲネサレの湖畔まで！ ちょうどそこに二そうの小舟があって、漁師たちは、舟からおりて網を洗っているところでした。イエス様との感動的な出会いが目の前だとは全然知らないで！

祈り 天のお父様、素晴らしい出会いはいつも普通の毎日の中で与えられるのがわかり、一日一日がとても楽しみです。

4月30日（火）

聖書 ルカ 5・3
 聖句 シモンの舟に乗り、陸から少し漕ぎ出すようにお頼みになった。そして腰を下ろし、舟から群衆を教え始められた。 3節

二そうの小舟の持ち主のひとり、シモンでした。イエス様は、群衆が押し寄せて来るので、ついにその一そうの小舟、シモンの小舟に乗り込まれたのです。シモンは押し寄せる群衆にまず驚き、次にイエス様がシモンの舟に乗り込んでこられたのにも目を丸くしたでしょう。おまけに岸から少しこぎ出してほしいと頼まれて、またビックリだったでしょう。その中からイエス様はどんなにか大声でお話されたことでしょうか。一体何を話されたのでしょうかね！？

祈り 天のお父様、シモンにとっては、思いもかけない、突然のイエス様との出会いでした。イエス様との出会いを感謝します。

5月1日（水）

聖書
聖句

ルカ 5・4～5

でも、おことばですので、網を下ろ
してみましょ。 5節

いよいよイエス様のお話も終わりとなりました。するとイエス様はシモンに向かって、「深みに漕ぎ出し、網を下ろして魚を捕りなさい」と言われます。シモンの頭の中は、「???」。イエス様は時々、小さなわたしたちの脳みそやハートではわからないと思われることを言われます。シモンはどう答えたでしょう? 「先生、漁師のわたしたちが夜通し働いたのに一匹も捕れなかったのですよ…でもあなたのお言葉ですから網をおろしてみます」と。

祈り 天のお父様、あなたやイエス様が言われることがわからない時も、あなたのお言葉を大切に思い従ってみます。

5月2日（木）

聖書
聖句

ルカ 5・6～7

そして、そのとおりにすると、おびただしい数の魚が入り、網が破れそうになった。 6節

「スゴーイ!!」イエス様が言われたとおりにしたのです。するとどうでしょう! 「おびただしい数の魚」が網の中にとびこんでいたではありませんか! 〈君たち、今までどこにいたの!?〉って言いたいくらい。網が破れそうになりましたが、破れなかったのです。きっとシモンや他の漁師さんたちのハートも驚きと感激で破れそうになったかも! そうなのです。イエス様のお言葉をそのまま、まともに受け取って、信じて従うとこんな奇跡が起こるのです。

祈り 天のお父様、「そのとおりにする」とのみ言葉をモットーに、いつでもどこでもどんなことでも従います。

5月3日（金）

聖書
聖句

ルカ 5・8～9

主よ、私から離れてください。私は罪深い人間ですから。 8節

「HELP! (助けて!)」と、シモンは、魚があまりに多くて、一そうの小舟だけではとても岸まで運べないのでもう一そうの舟に来るよう頼みました。そうして二そうの舟にいっぱい引き上げて入れると舟が沈みそうになったのです! そんな超大漁でした! それをみたシモンの心の中に、自分がイエス様の前にどんなにか力のない弱い汚れた罪人なのかハッキリと示されたのです。イエス様のひざもとにひれ伏して告白しました。この心が、実は一番神様に喜ばれる心なのですね。

祈り 天のお父様、あなたのお言葉の力の前に、わたしも自分の罪深さを悟ってひれ伏し、ますます従わせてください。

5月4日（土）

聖書
聖句

ルカ 5・10～11

恐れることは無い。今から後、あなたは人間を捕るようになります。 10節

もちろん、そう思ったのはシモンだけではありませんでした。ゼベダイの二人の子ら、ヤコブとヨハネも同じでした。すると、イエス様はシモンに言われたのです、「恐れることは無い。今から後、あなたは人間を捕るようになります。」と。『人間を捕る漁師』とは、罪深く、滅びゆくこの世の海の中から人々を救い出して、天の御国の民とする、この地上で最高最大の漁師です。シモンはもちろんのことヤコブもヨハネもすべてを捨てて主に従いました。

祈り 天のお父様、わたしも、「救うためにおいでくださったイエス様」に従って人々の救いのためのお手伝いをさせてください。



聖書 ルカ 5・27～32
 テーマ 罪人を招くキリスト
 暗唱聖句 わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためです。

ルカ 5・32

目標 罪人を招かれるキリストを信じ、従う者となる。

5月5日（日）

聖書 ルカ 5・27
 聖句 イエスは出て行き、収税所に座っているレビという取税人に目を留められた。そして「わたしについて来なさい」と言われた。 27節

先週は、漁師のペテロが、イエス様の弟子になったお話でした。イエス様が、ほかにどんな人を弟子にされたかという、なんと取税人レビ。そのときの取税人は、人々に「税金をはらえ！」とむりやりお金を集めて、それをこっそり自分のサイフにも入れていたのです。みんなそれを知っているのにやっていたんです、レビも。取税人なんか最悪！って、きらわれ者でした。イエス様はどうして、そんな人を弟子にしたのでしょうか。イエス様の深いみこころを教えてください。

祈り 天のお父様、わたしにはわからない、イエス様のみこころを教えてください。

5月6日（月）

聖書 ルカ 5・27～28
 聖句 するとレビは、すべてを捨てて立ち上がり、イエスに従った。

28節

イエス様に声をかけられたときの、レビのおどろきと感動といったら！すぐに立ちあがって、イエス様に従いましたよ。取税人から、いっきにイエス様の弟子へ！

「罪人」として、きらわれていたレビ。罪だとわかっているし、きらわれているのもわかっているけど、この生活を止められない。しかし、イエス様は、レビを弟子にしてくださいました。罪をおかす生活を止めさせてくださったのです。イエス様に、罪の生活を止めさせるお力があるのです。

祈り 天のお父様、イエス様だけが、わたしが罪をおかす生活を止めさせてくださいます。心から信じます。

5月7日（火）

聖書 ルカ 5・29
 聖句 取税人たちやほかの人たちが大勢、ともに食卓に着いていた。

29節

レビは、自分のもつ財産を神様にささげるけっしんをして、イエス様のために盛大なお食事会をひらきました。レビは、取税人の仲間たちや、罪人とよばれている人たちも招きました。取税人、罪人、大集合…！

取税人だったレビだから、このような人々をイエス様のところにつれてくることができたのです。あなたの家族や友だち、その中のたった一人でもイエス様のところにつれていくことができれば、すばらしいことです。それは、あなただけができることなのです。

祈り 天のお父様、わたしの家族や友だちを、イエス様のところにつれていくことができるよう、みちびいてください。

5月8日（水）

聖書
聖句

ルカ 5・30

なぜあなたがたは、取税人^{しゅぜいにん}たちや
罪人^{つみびと}たちと一緒に^{いっしょ}食べたり飲んだり
するのですか。 30節

今日^{きょう}のみことばは、パリサイ人^{パリサイびと}や律法学者^{りつぽうがくしゃ}た
ちのことば。「取税人^{しゅぜいにん}や罪人^{つみびと}とよばれる人^{ひと}とは、
ぜったいかかわらない」、と彼^{かれ}らは考^{かんが}えていた
のです。だから、「なんでこんな人^{ひと}たちと食事^{しょくじ}な
んかするの？」と問^いうわけです。イエス様^{イエスさま}と
弟子^{でし}たちのことを、おかしい！と思^{おも}っています。

でも、わたしたちもこういうことをしていな
いでしょうか。「あんな人^{ひと}とはかかわらないよ
うにしよう」「無視^{むし}しよう」…。こういう考^{かんが}え
こそ、おそろしい罪^{つみ}なのに、わたしたちはなか
なか罪^{つみ}だと気づかないのです。

いの 祈^{いの}り 天^{てん}のお父^{とう}様^{さま}、人^{ひと}をきらって、かかわらない
ようにしたり、無視^{むし}したりする罪^{つみ}から、わ
たしを守^{まも}ってください。

5月9日（木）

聖書
聖句

ルカ 5・31

医者^{いしや}を必要^{ひつよう}とするのは、健康^{けんこう}な人^{ひと}
ではなく病人^{びょうにん}です。 31節

イエス様^{イエスさま}は、ここで、正しい人^{ただしいひと}を「健康^{けんこう}な人^{ひと}」、
罪人^{つみびと}を「病人^{びょうにん}」、イエス様^{イエスさま}を「医者^{いしや}」にたとえて
おられます。げんきで健康^{けんこう}な人^{ひと}には、医者^{いしや}はひ
つようありません。病^び気^きの人^{ひと}にはひつようです
ね。おなじように、罪^{つみ}をおかさない正しい人^{ただしいひと}に
は、イエス様^{イエスさま}はひつようないでしょうけど、罪人^{つみびと}
にはイエス様^{イエスさま}がひつようです。

でも、ほんとうは、イエス様^{イエスさま}がひつようない
「正しい人^{ただしいひと}」なんて、どこにもいません。パリ
サイ人^{パリサイびと}たちだって、じつは病人^{びょうにん}。つまり罪人^{つみびと}な
のです。イエス様^{イエスさま}は、ほんとうはそこに気づい
てほしいわけなんですけど…。

いの 祈^{いの}り 天^{てん}のお父^{とう}様^{さま}、わたしは罪人^{つみびと}ですからイエス
さまがひつようです。わたしを罪^{つみ}から救^{すく}っ
てくださるイエス様^{イエスさま}に感謝^{かんしゃ}します。

5月10日（金）

聖書
聖句

ルカ 5・32

わたしが来た^{きた}のは、正しい人^{ただしいひと}を招^{まね}くた
めではなく、罪人^{つみびと}を招^{まね}いて悔^くいあらた
めさせるためです。 32節

イエス様^{イエスさま}は、なんのために地上^{ちじょう}にこ
でし。正しい人^{ただしいひと}を招^{まね}くため？ いいえ、罪^{つみ}を
おかさない正しい人^{ただしいひと}はいないのでしたね。イエ
ス様^{イエスさま}は「罪人^{つみびと}を招^{まね}いて悔^くいあらた
めさせるため」に
こられたのです。どんな罪人^{つみびと}でも、「わたしのと
ころにおいで！」とよんでくださいます。罪^{つみ}を
きちんと教^{おし}えて、悔^くいあらためさせてくださ
います。

「悔^く改^{かい}め」というのはね、罪^{つみ}をおかす生活^{せいかつ}か
ら、イエス様^{イエスさま}とともに歩^{あゆ}むあたらしい生活^{せいかつ}に、
方向^{ほうこう}をえ^かえることを言うのです。

いの 祈^{いの}り 天^{てん}のお父^{とう}様^{さま}、わたしを、イエス様^{イエスさま}と共^{とも}に歩^{あゆ}
むあたらしい生活^{せいかつ}へ方向^{ほうこう}をかえさせてく
ださい。

5月11日（土）

聖書
聖句

ルカ 5・27～32

「わたしについて来^きなさい」と言^いわれ
た。 27節

わたしたち罪人^{つみびと}を招^{まね}いて、悔^くいあらためさせ、
弟子^{でし}にしてくださるイエス様^{イエスさま}。レビがそうでし
た。彼^{かれ}はその後^ご、イエス様^{イエスさま}から「マタイ」とい
う名前^{なまえ}をもらいます。そう、マタイによる福音書^{ふくいんしょ}
を書^かいた人^{ひと}です。取税人^{しゅぜいにん}だったのに、すばらし
いお弟子^{でし}さんになったのですね！ これは、彼^{かれ}も
想像^{そうぞう}できなかった、おどろくべきこと。

イエス様^{イエスさま}は、あなたのことも呼^よんでおられま
す。イエス様^{イエスさま}の招^{まね}きにこたえて、みことばに
従^{したが}っていきませんか。イエス様^{イエスさま}は、かならず、
あなたをもちいられます。イエス様^{イエスさま}に従^{したが}っていく
と、おどろきと恵^{めぐ}みの連^{れん}続^{ぞく}ですよ！

いの 祈^{いの}り 天^{てん}のお父^{とう}様^{さま}、イエス様^{イエスさま}の招^{まね}きとみことばに
従^{したが}っていきます。あなたの恵^{めぐ}みをたくさん
体験^{たいけん}させてください。

はは ひ
母の日



聖書 ルカ 2・41～52
テーマ 両親に仕えるイエス
暗唱聖句 それからイエスは一緒に下って
行き、ナザレに帰って両親に仕
えられた。 ルカ 2・51
目標 両親を大切に、助ける者とな
る。

5月12日(日)

聖書 ルカ 2・41
聖句 さて、イエスの両親は、過越の祭りに毎年エルサレムに行っていた。
41節

今日は、母の日です。あなたを愛して育ててくださるお母さんに感謝しましょう。今日はとくべつに、お手伝いする！ という人もいるかな？ きっとよろこばれるでしょうね。いつもお母さんを大切に、お手伝いができたらすてきなことですね。…お父さんにもね！

イエス様にも、地上でのお父さん、お母さんがおられました。そう、ヨセフとマリアです。今週は、子どもたちのイエス様と両親のお話。子どもでも、イエス様はやっぱりイエス様。わたしたちに、たくさんのおしえてくださいます。

祈り 天のお父様、子どもたちのイエス様のすがたから、みこころを教えてください。

5月13日(月)

聖書 ルカ 2・42～45
聖句 少年イエスはエルサレムにとどまっておられた。両親はそれに気づかずに、
43節

イエス様が12歳の時のこと。イエス様は両親といっしょに過越の祭りにでかけられました。祭りがおわって、ぜんいんでゾロゾロ帰るはずが、イエス様はエルサレムに残られたのです。「あれ、イエスがいない！」と両親が気づいたのは一日歩いたあと。それはもう青くなってさがして、ついにエルサレムに引き返したのです。

イエス様はちゃんとわけがあつて残られたんですが、こうやって両親に心配される経験があつたんですね！ 心配してくれる親がいるって、神様の恵みです。しあわせなことですよ。

祈り 天のお父様、わたしのことを心配してくれるお父さん、お母さんはあなたからの恵みです。感謝します。

5月14日(火)

聖書 ルカ 2・46～47
聖句 聞いていた人たちはみな、イエスの知恵と答えに驚いていた。 47節

両親は、三日たって、やっとイエス様を見つけました！ イエス様がいたのは、なんと宮の中。イエス様はしんけんに聖書の教師たちの話をきいたり、しつもんしたりしていました。イエス様のあまりのかしこさに、教師も人々もびっくり！

12歳のイエス様にとって、いちばん関心があつて大切にされていたのは、神様のみことばでした。みことばをいちばん大切にしていくと、神様のみことばのすばらしさを、子どもたちのときからハッキリ体験できます！

祈り 天のお父様、あなたのみことばのすばらしさを、もっと体験できるようにしてください。

5月15日（水）

聖書 ルカ 2・48

聖句 見なさい。お父さんも私も、心配してあなたを捜していたのです。

48節

「どうしてこんなことをしたの？」とイエス様のお母さん。でも、むりもありません。イエス様が見つかってホッとしたけれど、どんなに心配したことか…。胸がはりさけそうになりながら、ひっそり息子であるイエス様をさがしたのです。

神の子イエス様が、地上での両親から、あたたかい愛をうけておられたことがわかります。両親からたくさんの愛をうけて育てられる経験をされたんですね。ほんとうにすてき。お母さんはね、あなたが大好きで、心配で、ちょっと言いすぎてしまうものなんです。

祈り 天のお父様、わたしを愛して育ててくれる両親を心から感謝します。

5月16日（木）

聖書 ルカ 2・49～50

聖句 わたしが自分の父の家にいるのは当然であることを、ご存じなかったのですか。

49節

イエス様はここで、神様を「自分の父」と言われました。そのような言葉は、だれも言ったことがない言葉でした。少年イエス様は、ご自分が神の子で、使命があることをわかっておられたのです。神の宮にいることは、イエス様にとっては自然なことでした。両親は、イエス様が生まれるとき「神の子」だと聞いたはずだけど、頭の中でつながらなかったみたい。

子どものときに、しょうらいの神様からの使命をかんがえるって、すごく大切。もちろん、子どものときにも神様からあたえられている使命があります！

祈り 天のお父様、あなたがわたしにあたえておられる使命を、教えてください。

5月17日（金）

聖書 ルカ 2・51

聖句 それからイエスは一緒に下って行き、ナザレに帰って両親に仕えられた。

51節

両親は、イエス様が言われたことがわかりませんでした。しかし、イエス様はもんくを言いませんでした。両親といっしょに家に帰って、彼らに仕えられました。お父さん、お母さんに従って、大切にされたのです。

イエス様は神の子なのに、人間の両親に仕えられたのですから、わたしたちはなおさら、両親に仕えなければいけませんね。ぎゃくに、両親にわがまま言って仕えさせてない？ ちょっと反省…という子もいるかな？ 少年イエス様は、わたしたちの最高のお手本ですね。

祈り 天のお父様、イエス様のように、両親に仕える人にならせてください。

5月18日（土）

聖書 出エジプト 20・12

聖句 あなたの父と母を敬え。あなたの神、【主】が与えようとしているその土地で、あなたの日々が長く続くようにするためである。

12節

今日のみことばは、神様からの大切な十の教えのひとつ。少年イエス様は、このみことばに従って、両親を大切に、仕えられたのです。

神様は、お父さん、お母さんを大切にすることをよこばれます。長く、ずっと祝福されます。ぎゃくに、両親を大切にしないで、祝福がなくなってしまう人は多いのです。あなたがイエス様のように両親を大切に、祝福の人生をあゆんでほしい。それが、神様の願いなのです。

祈り 天のお父様、わたしの両親を大切にしてください。神様の祝福をうける人生になりたいです。

ペンテコステ



聖書 使徒1・3～8
 テーマ 御霊の恵みを求める
 暗唱聖句 聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、…わたしの証人となります。使徒1・8
 目標 聖霊に満たされることの必要を知り、聖霊の恵みを求める。

5月19日（日）

聖書 使徒1・3～8
 聖句 聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、…わたしの証人となります。

使徒1・8

ペンテコステ、心よりおめでとうございます！ へ？ ヘンテコスケ？ ヘンテコリンな名前だと思うかしら。これはすばらしい記念日の名前なのです。イエス様は十字架で死に、葬られて、三日目によみがえられ、何と四十日の間復活のお姿を弟子たちにあらわされました。それから天に帰って行かれましたが、その代わりに「聖霊なる神様」が天から注がれました。この聖霊に満たされてペテロが話すと、三千人の人がイエス様を信じて、教会が誕生しました！

いのちの祈り 天のお父様、ただ聖霊に満たされてはじめて力強くあなたをあかしできます。聖霊に満たされるよう求めます。

5月20日（月）

聖書 使徒1・3
 聖句 四十日にわたって彼らに現れ、神の国のことを語られた。3節

今年のイースター（復活祭）は何日だったか覚えていますか？ そう、3月31日（日）でしたね。盛大にイースター祭りをしたのでしょうか？ たくさんの新しい人たち、お友だちが教会に招かれて来られたのでしょうか。その日から数えて昨日が五十日目だったのです。復活されたイエス様は、四十日の間、あちらこちらで、たびたび弟子たちの前に現れてくださいました。その様子も学びましたね。そして「神の国」のことをしっかり弟子たちに語られたのです。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様は「神の国」を教えてください。くださるために来てくださいました。「神の国」を待ち望みます。

5月21日（火）

聖書 使徒1・4～5
 聖句 エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。4節

「おつかい行ってきたー」「ハーイ！」って、お金も持たず、何を買ってくるのかも知らないで出かけて行く人はいないでしょう？！ ちゃんと用意すべきことをしてから、「行ってきました」ということになるのです。「神の国の福音」、「イエス様の福音」を人々に力強く伝えていくために、一番必要な用意は何でしょう？ 「父の約束」つまり、聖霊によるバプテスマを授けられるということなのです。そのためにエルサレムにとどまって待ちなさいと。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのお約束である聖霊によるバプテスマを私も授けられて、イエス様を伝えたいです。

5月22日（水）

聖書 使徒1・6～8

聖句 聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。8節

復活のイエス様を見た弟子たちは、それぞれ勇気百倍、イエス様へは100%信頼。「いよいよイスラエルの国を、ローマから独立させて復興させるのですか」とたずねます。「それは父にお任せするとして、あなたがたが聖霊に満たされると力を受けて、わたしの証人になるのだよ」と言われます。この力はこの世の軍事力や武力ではなく、主の証人として生きていく力のことなのです。

祈り 天のお父様、この世の国でなく、神の国は聖霊に満たされた人たちによって、広がっていくことがわかりました。

5月23日（木）

聖書 使徒1・8

聖句 聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。8節

「私、教会に行ってるのよ」って、お友だちに言えない子がいますか？ 聖霊に満たされると、喜んで言えるのです。お祈りして求めてみてください。弟子たちは、まず自分たちが住んでいたエルサレムからはじめて、「イエス様こそ救い主です」と大胆にあかししていけるように、十日間、お祈りして、聖霊の降のを待ち、ついに注がれたのです。この聖霊の働きにより、イエス様のことが地のはて日本まで届きました！

祈り 天のお父様、私も聖霊に満たしてください。家族のみんなに伝えて家族でイエス様を信じられますように。

5月24日（金）

聖書 マタイ 6・28～30

聖句 野の花がどうして育つのか、よく考えなさい。28節

5月19日（日）は、ペンテコステ記念日でしたね。そして、今年は6月9日（日）が「花の日・子どもの日礼拝」ですね。きれいなお花を素敵な花束にしたり、バスケットにアレンジして、病氣の方々やさびしい方々にお届けする美しい日です。イエス様は、野の花を見なさい、アレコレ心配したりしないようにとお話しされたのです。野の花は、働いたりすることもなく、神様に造られたありのままの姿で、まぶしいくらい美しく輝いて咲いています。あなたのことも心配してくださっています。

祈り 天のお父様、私も野の花たちのように、すっかりあなたにおまかせして、安心して喜んで生きていきます。

5月25日（土）

聖書 マタイ 6・31～34

聖句 まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。33節

何を食べようかな、何を飲もうかな、何を着ようかな、明日はどんな日になるのかな、あさってはどうなるのかな、あのことはどうなっていくのかな、このことはどうなのかなって、ドキドキ、ハラハラ、くよくよしたりする子はいませんか？ イエス様が、「みんな大丈夫だよ、何にも心配することはありませんよ。とにかく、神様は全部わかってくださって、よくしてくださいますから！ まず、第一に神様を求め信じていきましょう」と言われます。

祈り 天のお父様、きょうのみ言葉をありがとうございます！ いろいろな心配するのをやめて、教会学校に励みます！



聖書 I サムエル 3・1～14
 テーマ 幼子サムエル
 暗唱聖句 【主】よ、お話しください。しもべは聞いております。
 I サムエル 3・9

目標 日々、神のみ声を聞いて生きる。

5月26日（日）

聖書 I サムエル 3・9
 聖句 【主】よ、お話しください。しもべは聞いております。 9節

神様はどんな人にお話ししてくれると思いますか？ 大人の人？ えらい人？ 教会の先生？

神様は、小さな子どもだとしても、大切なことをお話しすることがあります。「聞いています」と、すなおに聞いて従う心になるなら、あなたも神様の声に気づくはず！

神様の愛がどんなに大きいのか、あなたの罪のこと、イエス様の十字架のこと、沢山のことがただ「ふ〜ん」って聞くんじゃなくて、自分のためだってことがわかるんだ。

小さなサムエルも、神様の言葉を聞きのがさないように、心の耳もすまして聞いたんだよ。

祈り 天のお父様、サムエルのような素直に聞いて従う心で、あなたの話を聞きます。

5月27日（月）

聖書 I サムエル 3・1
 聖句 そのころ、【主】のことばはまれにしかなく、幻も示されなかった。 1節

聖書や、教会、教会の先生がいなかったら、どうやって神様の気持ちや言葉を知ろう？

神様は、人間を「神のかたち」に似せて特別に造られました。神様の気持ちや言葉がわかるようにしてくれたってことだね！ でも、人間は自分勝手ばかりして、かんたんに神様を捨ててしまうんだ。神様の言葉を聞こうとしないから、神様の言葉が聞こえなくなってしまったんだね。サムエルの時代もそうだね。神様のお話しの聞き取りにくい時代でした。

祈り 天のお父様、こんな時代にも聖書や教会の先生から、あなたの言葉を聞くチャンスをご下さり感謝します。

5月28日（火）

聖書 I サムエル 3・6
 聖句 【主】はもう一度、サムエルを呼ばれた。 6節

あなたは神様にどんなお祈りをしますか？

「ああしてください。こうしてください。」と一生懸命にお願いはするかもしれませんがね。

お祈りはね、神様とお話しする時間！ お友達とお話しするとき、あなただけがしゃべってるなんてことはないでしょう？

聖書には、神様があなたにお話ししたいことがいっぱい詰まっているよ。そして、サムエルが神様のお話しを一生懸命聞こうとしたみたいに、聖書の一枚一枚を見て！ 神様はサムエルを呼んだようにあなたに呼びかけ、大切なお話しをたくさんしてくれるでしょう。

祈り 天のお父様、あなたのお話しを聞くために聖書の一枚一枚を読みます。

5月29日（水）

聖書 I サムエル 3・2～9

聖句 サムエルは、まだ【主】を知らなかった。まだ【主】のことばは彼に示されていなかった。 7節

サムエルが神の箱のある神殿で寝ていたとき、「サムエル、サムエル」という声で起きました。きつとエリが呼んだんだと、エリの所へ行っただけエリの声じゃなかったの。それが三回も続いたから、エリはそうか！と気づきました。そしてサムエルに、それは神様の声だから「お話しください。しもべは聞いております。」と言うよう教えました。エリは長い間神様のために働いてきた人だからわかったんだね。

今日も、神様はあなたを呼んでいるかもしれないね。そのことに気づかせてくれる人がいるときは、聞く心のじゅんぴをしてくださね。

祈り 天のお父様、誰かがあなたの声に気づかせてくれるなら、すなおに聞きます。

5月30日（木）

聖書 I サムエル 3・10～11

聖句 だれでもそれを聞く者は、両耳が鳴る。 11節

神様がわたしたち一人ひとりにお話ししてくれるってすごいことだね！

でも、神様のお話しはいつもうれしい、たのしいことばかりでしょうか？ いいえ！

「もう聞きたくない！ いやだ！」って思うようなきびしいこともお話しするんです！

神様は、聖いお方。人が、自分勝手や罪があるままでは永遠に滅んでしまうことを悲しまれます。もし、あなたが神様を信じるのなら、うれしいことばかりではなく、耳がいたいくらいきびしいしいことも聞きましょう。あなたは神様のしもべ、神様の子どもなんだから！

祈り 天のお父様、きびしいお言葉も聞きます。わたしはあなたの子ども、あなたのしもべです。

5月31日（金）

聖書 I サムエル 3・12～14

聖句 息子たちが自らにのろいを招くようなことをしているのを知りながら、思いとどまらせなかった咎のためだ。 13節

サムエルは神様からなにを聞いたのかな。

実は、エリの子どもは、神殿に礼拝に来た人たちが神様に捧げたものを、取っては食べていたのです。これは神様のものをうばう罪です！

神様は悔い改めるチャンスをくれましたが、だれも悔い改めようとはしませんでした。

サムエルは、エリの子どもだけでなく、子どもを止められなかったエリも、エリの家も、永遠に裁かれると聞いたのでした。

神様を恐れ仕える人への責任のきびしさ！

祈り 天のお父様、誰かの罪を見たなら、いい加減にせず、止められますように。

6月1日（土）

聖書 I サムエル 3・12～14

聖句 エリの家々の咎は、いけにえによっても、穀物のささげ物によっても、永遠に赦されることはない。 14節

永遠に赦されることはないとは、なんてきびしいおことばでしょう。だれが神様の前に立った時に、自分は何の罪もない人間ですなんて、そんなこと言えるんだろう。

「ああ、そうか、だからこそ、イエス様がわたしたちの罪のためにいけにえになってくださったんだ」。そうわかる人はほんとうに幸せです。完ぺきではない、罪を犯してしまいいい、そんな人間だから、イエス様の救いが本当に必要なんだね。それを受け入れることが、神様の声に聞いて従うことなんだね。

祈り 天のお父様、こんなわたしにも、イエス様による救いを用意してくださり、ありがとうございます。



聖書 I サムエル 16・6～13
 テーマ ダビデの油注ぎ
 暗唱聖句 人はうわべを見るが、【主】は心を見る。 I サムエル 16・7

目標 心を見られる神に喜ばれるように生きる。

6月2日（日）

聖書 I サムエル 16・7
 聖句 人はうわべを見るが、【主】は心を見る。 7節

あなたが王様を選ぶなら、どんなことが一番大切だと思いますか？ 筋肉モリモリでなんでもできること？ 天才でむずかしい問題も解決できること？ 背が高いイケメンであること？

イスラエルの最初の王様サウルも、背が高くてカッコよかったよ。でもサウル王様は自分勝手に、神様に従うことをやめてしまったんだ。神様はとても悲しんで、サウルではない王様を選ぶことにしたの。

神様が喜ばれ、選ばれる人は、その心がまっすぐ神様に向かっていて、神様に一番に従える人だということを忘れないでね。

祈り 天のお父様、自分勝手な心でなく、まっすぐな心であなたに従えますように。

6月3日（月）

聖書 I サムエル 16・6
 聖句 サムエルはエリアブを見て、「きっと、【主】の前にいるこの者が、主に油を注がれる者だ」と思った。 6節

サムエルは、神様に、エッサイという人（ひと）に会いに行くよう言われました。エッサイの子どもの中に、新しく王様になる人がいるからです。

サムエルがエッサイの子どもたち（こどもたち）に会ったとき、まずエリアブを見て“なんて立派で健康でかっこいいんだ！ この人が王様になるんだな！”と思いました。でも、サムエルが見ていたのは、どんなにかっこいいか、立派か、健康そうか、強そうか、という見た目のことでしかありませんでした。あなたは人を「見る」とき、どんな風に見ていますか？

祈り 天のお父様、見た目ばかりを気にする弱い心を強くしてください。

6月4日（火）

聖書 I サムエル 16・7
 聖句 彼の容貌（ようぼう）や背の高さを見てはならない。 7節

どうしてカッコ良さとか背の高さとかで人を見ちゃいけないの？

あなたが大切なことを決める時、人のカッコ良さや身長や頭の良さだけで決めるということは、例えば、本の表紙（ひょうし）だけ見て全部（ぜんぶ）読んだ気になるのとおんなじ事（こと）だよ。表紙（ひょうし）の部分が大切なんじゃなく中身（なかみ）が大切（たいせつ）！ そうでしょ？

あなたもそう。神様（かみさま）は見た目（め）のあなたではなく、中身（なかみ）のあなた、本当（ほんとう）のあなたのことを見ておられるんです。

神様（かみさま）が本当（ほんとう）のあなたを見てくださるように、あなたも、人（ひと）を見るなら見た目（め）でなくて、その中身（なかみ）を見ることができるようになってね！

祈り 天のお父様、わたしも人の見た目（め）ではなく、中身（なかみ）を大切にできますように。

6月5日（水）

聖書 I サムエル 16・8～10
聖句 【主】はこの者たちを選んでおられない。 10節

サムエルは、エッサイの7人の子どもに会いましたが、神様は心を見て、7人とも王様になる人ではないと言われました。

神様の答えには「NO!」があります。神様に従わない心がある時、自分勝手に生きる心がある時、まちがった道を行こうとする時、神様は「そうではない。わたしはそれを喜ばない!」と言われるのです。

それは、あなたが最高の人生を歩むため、あなたが神様に喜ばれるいちばん良い答えを見つけるため、悪魔に負けないで永遠の命をもらうためなのです。

祈り 天のお父様、あなたが「違うよ」という時は、わたしにいちばん良い答えを用意してくださる時だと信じます。

6月6日（木）

聖書 I サムエル 16・11
聖句 その子来るまで、私たちはここを離れないから。 11節

7回も神様の「NO!」を聞いたサムエル。でも、サムエルは信じていました。今日、すばらしい王様が誕生するって! エッサイにはまだほかに子どもがいて、その子に会うまでは絶対あきらめないって言ったの!

神様が「そうじゃない! それはいけない!」とあなたに何回も言われたら、すぐにあきらめたり、すねたり、やっぱり神様に従うより自分の思うとおりにしたいと思いませんか?

でも、それは神様からあなたへの信仰のテスト! 神様が喜ばれる答えを見つけるまでは絶対にあきらめないこと。どんな風にあなたが答えるか、神様も見ておられるのです。

祈り 天のお父様、あなたが喜ばれる答えをくださるまであきらめません!

6月7日（金）

聖書 I サムエル 16・12～13
聖句 さあ、彼に油を注げ。この者がその人だ。 12節

ついにサムエルはダビデという少年に出会いました。ただ見た目が美しいだけではなく、きらきら輝く目の奥に、とても美しい心が見えるようでした。その時、サムエルは、神様がダビデを選んでおられることがわかって、ダビデに特別なお祈りをしました。すると、ものすごい神様の力がダビデを包んだのです!

神様が選び、神様が喜ばれる特別な人には、神様の大きくてすばらしくて、ものすごい力が注がれるんだね!

神様を信じるあなたも選ばれた特別な人! 神様の大きな力に包まれているよ!

祈り 天のお父様、世界の中でわたしを選んでくださり、いつも大きな力で包んでくださってありがとうございます。

6月8日（土）

聖書 使徒13・22
聖句 彼はわたしの心になかった者で、わたしが望むことをすべて成し遂げる。 22節

神様は、ダビデのどういう心を良いと思つて選ばれたの?

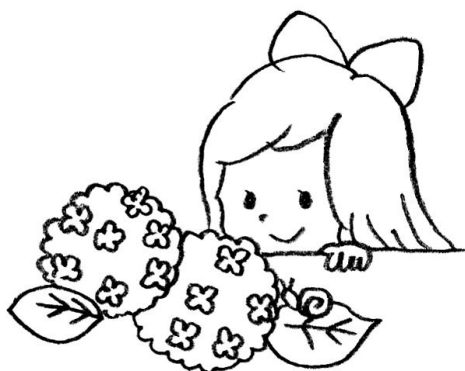
ダビデはね、こういう人でした。

- ① 神様が願っておられることを行うことが自分のよろこびだった。
- ② 神様がいなくては生きていけないと思うほど神様にたよる人だった。
- ③ 神様が喜ばない罪がある時は、心から、すなおに悔いあらためる人だった。

わたしたちも神様をたより、神様に従い、すなおに悔いあらためる心をもちたいね!

祈り 天のお父様、あなたにたよって生きます。ダビデのような心で毎日を過ごせますように。

はな ひ こ 子どもの日
花の日・子どもの日



聖書 マタイ 6・25～34
テ一マ 思い煩いからの解放
暗唱聖句 野の花がどうして育つのか、よく考えなさい。

目標 マタイ 6・28
必要を備えてくださる神を信頼し、心配しないで生きる。

6月9日(日)

聖書 マタイ 6・25～34
聖句 野の花がどうして育つのか、よく考えなさい。 28節

きょうは一年の内でもとても美しい「花の日・子どもの日」の礼拝です。1856年、アメリカで始まりました。色とりどりのお花、形もさまざま、香りもまた不思議ですばらしい、数えられないほどの種類のお花、胸がいっぱいになりますね。まるで天の花園です！一つひとつのお花は輝いています。天の父なる神様の最高のデザインです。このように野の花を美しく咲かせてくださる神様はモチロン、あなたには、それ以上のことをしてくださいます。

祈り 天のお父様、もう、何を着ようかと自分のからだのことや洋服のことで思い煩ったりは決してしません。

6月10日(月)

聖書 マタイ 6・25
聖句 いのちは食べ物以上のもの、からだは着る物以上のものではありませんか。 25節

「ああ、心配だなア。何を食べればいいのか。何を飲んだらいいのか」って、命のことで、アレコレ、心配することを、「思いわずらい」と言うのです。子どもはあまりそんなことはないかもしれませんね。え？ たまにありますか？ お母さんだったら、毎日毎日、あなたや家族の人に食べさせたり、飲ませたりするから、「思いわずらい病」にかかるかも！ お母さんと一緒に読んで祈りましょう。食物より大切な命を守り養ってくださるのは神様です。

祈り 天のお父様、命を与え、養ってくださるのはあなたですから、何も心配しないで、感謝してすごします。

6月11日(火)

聖書 マタイ 6・25～26
聖句 空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。 26節

「チチチッ！」と鳴きながら飛んでいる空の鳥を指さしてイエス様が言われました、「ごらんなさい、あの空の鳥を」ってね。空の鳥がせっせと種まきしているのを見たことがありますか？鳥たちがかまを持って、刈り入れをしているのを見たことがありますか？ノー！ですよね。それじゃ、鳥たちは一体どうやって生きているの？それは、天の父が彼らを養っているからです。あの木の実、この木の実と食べます。何の心配もしないで鳥たちは生きています。

祈り 天のお父様、空の鳥を養ってくださるあなたが私たちにも必要な食物はじめ、すべてを備えてくださり感謝します。

6月12日(水)

聖書
聖句

マタイ 6・25～27

あなたがたのうちだれが、心配したからといって、少しでも自分のいのちを延ばすことができるでしょうか。

27節

「寿命」って!? この地上で生きる命の年の数です。つまり何歳まで生きるか、何年この地上に生きるかということです。これだけは誰にもわかりません。若くして死ぬのか? 百歳を超えるほどまでも生きるのか? 本当に誰一人わかる人はいないのです。ましてや、何かと心配したり、思わずらったからといって、その寿命をわずかも延ばすことも決してできないのです。それはもう、神様のご計画の中にちゃーんとあって、人はどうすることもできません。

祈り 天のお父様、本当に「命」「地上の寿命」はただ、あなたのご計画です。あなたにのみ信頼して生きていきます。

6月13日(木)

聖書
聖句

マタイ 6・28～30

栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも装っていませんでした。

29節

ソロモン王様のまばゆいばかりの神殿! 香り高い材木に、金ですべてがおおわれた燭台とか机とか...! 南の国シェバの女王があまりの華やかさ、ぜいたくさにびっくり仰天してしまったほどでした。ところがイエス様が言われるのに、その栄華をきわめたソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかったと! きらびやかなソロモンの衣よりももっとはるかに美しいのがこの野の花なのです。それはきっと、神の輝く命の美しさが源なのです。

祈り 天のお父様、野の花をさえ、このように美しく咲かせてくださるあなたが、私たちにもそれ以上よくしてくださると信じます。

6月14日(金)

聖書
聖句

マタイ 6・31～33

まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。

33節

おまけつきのグリコのキャラメル! 今もありますか? おまけつきの小学館の本とか。おまけは、別にそれを買おうと思ってお金を出すものではありませんね。キャラメルを買おうと、ついてくるものです。イエス様は、何を食べようとか、着ようとか、そういうことはおまけですよといわれます。何のおまけ? 神の国と神の義を第一にする人のためには必ず与えられるおまけですと。神様をいつでも第一にしていると、本当に驚くほど満たされます!

祈り 天のお父様、日曜日には教会であなたを礼拝し、毎日み言葉を読んで祈るなら、すべてが与えられると信じます。

6月15日(土)

聖書
聖句

マタイ 6・31～34

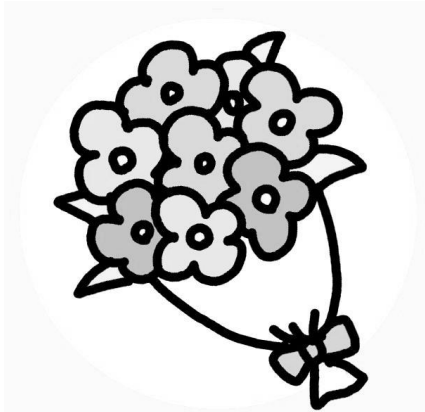
苦労はその日その日に十分あります。

34節

だから、あすのことをいろいろ、くよくよ、心配しなくてもいいですよとイエス様は言われます。朝、目が覚めて、「神様、きょう一日、共にいてお守りください」と祈りましょう。この前の日曜日の教会学校のみ言葉を言いましょう。そして、きょうの時間割、きょう持っていく物、きょう出す宿題を忘れずに! 学校が終わると、きょうやるべき宿題をして、きょう一日の感謝のお祈りをして、もう一度み言葉を言って、明日の教会学校を楽しみに寝ましょう。

祈り 天のお父様、あすのことを心配しないで、あなたにおまかせし、きょう一日を精一杯生きていけますように。

ちち ひ
父の日



聖書 マタイ 7・7～12
天一マ 天の父への祈り
暗唱聖句 天におられるあなたがたの父は、
ご自分に求める者たちに、良いもの
を与えてくださらないことが
あるでしょうか。 マタイ 7・11

目標 祈りに答えて良いものを与えて
くださる天の父なる神を信じる。

6月16日(日)

聖書 マタイ 7・7～12
聖句 天におられるあなたがたの父は、ご
自分に求める者たちに、良いものを与
えてくださらないことがあるでしょ
うか。 11節

今日は「父の日」の礼拝です。「お父さん、あ
りがとう！」そして「天の父なる神様、ありが
とう！」と、心からの感謝をあらわしましょう。
今年の父の日メッセージは、『もっともって天
の父に祈ろう!!』ということです。人間の父だっ
て、パンを求める子に石を与えたり、魚を求め
る子にへびを与えたりしません。良い贈り物し
かないでしょう。天の父なる神様は、もちろ
ん、一番良いものを下さるのです。助け主なる
聖霊なる神様ですよ。

祈り 天のお父様、肉親の父にはもらえない
大切な良いものである聖霊をあなたが与
えてくださいますので感謝です。

6月17日(月)

聖書 マタイ 7・7～8
聖句 だれでも、求める者は受け、探す者は
見出し、たたく者には開かれます。
8節

さすが、天の父なる神様はすごいと思いませ
んか? 「求めなさい。そうすれば与えられま
す。」と、大胆にも言うてくださっています。
肉親のお父さんだと、そんなにガンガン求めら
れても、「ダメだよ、無理だよ、与えられない
よ」って、タジタジとなってしまうところで
しょう。でも天の父なる神様はちがいますね。
『求めなさい! 与えられますよ』と言ってく
ださい。この「父の日」から、よーし、いっ
ぱい求めていこうと決心しませんか?

祈り 天のお父様、あなたの大膽なお招きを感謝
します。すべて求める者は得るとあるのを
信じてお祈りしていきます。

6月18日(火)

聖書 マタイ 7・9～12
聖句 ですから、人からしてもらいたいこと
は何でも、あなたがたも同じように人
にしないで。 12節

私たちは「天の父の子どもたち」ですね。父
なる神様は、私たちの祈り、願い、望みを聞いて、
そのようにしてあげたいという御思いを
持っていていらっしゃいます。お祈りにこたえてい
ただけて、望みどおりにしていただけたらどん
なにうれしいことでしょう! ですから、私た
ちも、何事でも人々から、ああしてほしいな、
こうしてほしいなと望むことがあったとしたら、
まずは私の方からそのようにしてあげましょ
う。この教えを『黄金律』と言うのです。

祈り 天のお父様、完全な愛のお方であるあな
たにふさわしい『黄金律』を守って、祝福
が広げられるとうれしいです。

6月19日（水）

聖書 ヤコブ1・5～8
聖句 ただし、少しも疑わずに、信じて求めなさい。 6節

イエス様の弟のヤコブさんは、よくお祈りをする人だったみたいです。天の父に祈り求めようとたくさん書いていますよ。まずは、「あなたがたのうちに、知恵に欠けている人がいるなら、その人は、だれにでも惜しみなく、とがめることなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば与えられます。」(5)とあります。勉強のこともそうだし、生活のいろんな知恵もですね。「本当に与えられるのかな？」と思わないで！疑わないで、信じて祈り求めていくことですね。

祈り 天のお父様、限界のある小さな私の頭であり、能力ですが、信じて祈って、さらに知恵が与えられますように。

6月20日（木）

聖書 ヤコブ1・17～18
聖句 すべての良い贈り物、またすべての完全な賜物は、上からのものであり、光を造られた父から下って来るのです。 17節

贈り物ってうれしいでしょう？ クリスマスプレゼントとか、バースデイプレゼントとか。ただ感謝して、もらうだけですものね。天の父、光の父、上にいらっしゃる神様が、その良い贈り物や、完全な賜物、これも同じプレゼントですが、私たちにくださるというのです。すごいと思いませんか?! 私たちは、ただ信じて、お祈りして、求めて、受け取って、感謝します！と言うだけなのです。神様からのものはすべて良い物、完全な物。頂きましょう！

祈り 天のお父様、あなたを信じる信仰の世界はなんてすごい、リッチな世界でしょう。光の父なるあなたを信じます。

6月21日（金）

聖書 ヤコブ4・1～10
聖句 「神は、さらに豊かな恵みを与えてくださる」と。 6節

「自分のものにならないのは、あなたがたが求めないからです。」(2)とヤコブは言います。そうか、と思いますね。求めても与えられないのは、自分を楽ませようとして、悪い求め方をするからだともあって、ナルホドと思います。どんな心で、どうお祈りをする人に、神様は良い贈り物をいっぱいくださるのでしょうか。「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与える。」(6)とあります。神様は恵みを与えようとしていてくださいます。へりくだって求めよう。

祈り 天のお父様、私たちを愛して恵みをますます与えようとしていてくださるあなたの前にへりくだって求めていきます。

6月22日（土）

聖書 ヤコブ5・13～18
聖句 正しい人の祈りは、働くとき大きな力があります。 16節

エリヤって、どんな人だったか？ 思い出しますか？ 神様の言葉を頂いて、大胆に信じて語った預言者です。「私のことばによるのであれば、ここ数年の間、露も降りず、雨も降らない」(I列王17・1)と言うと、何と3年6ヶ月、一滴も雨が降りませんでした！ バアルという偶像信者450人と対決して天からの火を呼びくぐりました！そして、次にはカルメル山の頂上で、祈って祈って、大雨を降らせたのです！生きておられる神様を信じて祈ったからでした。エリヤも人間、私も同じ人間！

祈り 天のお父様、生きておられるあなたを心底信じて、エリヤのように祈って、あなたのみわざを見たいです。



聖書 I 列王3・16～28
 テーマ ソロモンの知恵
 暗唱聖句 神の知恵が彼のうちにある、さばきをするのを見たからである。
 I 列王3・28
 目標 神様からの知恵によって生きる者となる。

6月23日(日)

聖書 I 列王3・16
 聖句 そのころ、二人の遊女が王のところにきて、その前に立った。 16節

今週は、イスラエルの王、ソロモンのお話です。ソロモンは、神様からの知恵を与えられた人で有名です。さあ、どんな知恵だったのか、注目！

ソロモンのところに「遊女」と呼ばれる二人の女性がやってきました。遊女は、周囲から良く思われていない人たちでした。だから、そういう人は、身分の高い王様になっても会えないはずなのです。ところが、ソロモンはどんな人であっても直接会って、話を聞きました。神様の知恵がある人は、どんな人も受け入れて、けっして差別しないのですね。

祈り 天のお父様、人を差別しないで、どんな人も受け入れる神様の知恵を、わたしにもあたえてください。

6月24日(月)

聖書 I 列王3・17～21
 聖句 家には私たちのほか、だれも一緒にいた者はなく、私たち二人だけが家にいました。 18節

二人の女性は、同じ家に住んでいて、同じ時期に赤ちゃんを産みました。ところが、片方の女性が、寝ているあいだにあやまって自分の赤ちゃんの上ののってしまい、赤ちゃんは死んでしまいました。そこで、もう片方の女性の生きている赤ちゃんを、自分の死んだ赤ちゃんをとりかえたのです！

この二人のほかには誰も見ていないと言うのですから、どうしようもない？ いいえ、見ていたお方がいます。それは神様。ソロモンが求めた知恵は、すべてを知っておられる神様の知恵なのです。

祈り 天のお父様、すべてを知っておられるあなたの知恵を、わたしにも与えてください。

6月25日(火)

聖書 I 列王3・22
 聖句 女たちは王の前で言い合った。 22節

「生きている子がわたしの子どもよ！」「いいえ、死んだ子があなたの子どもでしょ？」と、二人の女性はソロモン王の前で大ゲンカ！

赤ちゃんというのは、お母さんがほんとうに苦労して産むものです。せつかく生まれた赤ちゃんが死んでしまい、もう一人の女性の赤ちゃんが生きている。くやしくて、悲しくて、たまらなかったでしょう。自分のことしか考えられなくなって、まるで物みたいに赤ちゃんを取りかえてしまいました。神様の知恵がないと、自分のことだけを考へて行動して、争いをおこしてしまいます。

祈り 天のお父様、わたしが自分のことだけを考へて、争いをおこさないように助けてください。

6月26日（水）

聖書 I 列王3・23～25

聖句 生きている子を二つに切り分け、
半分をこちらに、もう半分をそちら
に与えよ。 25節

さあ、困りました。二人の女性の犬ゲンカは、
いつまでも終わろうにありません。ところが
ここで、ソロモンは神様の知恵を用いたのです。
「刀を持ってきて、赤ちゃんを半分にわけて、
二人の女性にあたえなさい」。えええ!? 赤ちゃん
を刀で半分にしてみよう? そんなことしたら、
赤ちゃんは…! そこにいた全員に衝撃が
走りました!

神様の知恵は、わたしたちが考えつかない、
おどろきにあふれています。そして、ちゃんと
あとでその意味を教えてくださいますよ!

祈り 天のお父様、神様の知恵はおどろきでいっぱい
です。わたしがその意味がわかるように
助けてください。

6月27日（木）

聖書 I 列王3・26～27

聖句 生きている子を初めのほうの女に
与えよ。…彼女がその子の母親であ
る。 27節

赤ちゃんを刀で切ってわかるなんて! 片方
の女性がまっさきに言いました、「赤ちゃんをあ
ちらの女性にあげていいです。どうか殺さない
で!」。もう片方の女性は「どっちにもあげない
で、切ってください!」。さて、どちらが本当の
お母さんだと思いますか? 「殺さないで!」と
言ったほうですよ! ソロモンは、その女性に
赤ちゃんをわたしました。二人の反応を見て、
本当のお母さんをあてたのです。おみごと!

神様の知恵は、必要なところに、きちんと働
くのです。むだなことはありません。

祈り 天のお父様、神様の知恵は、本当に必要な
ところに働かれることを教えてください
感謝します。

6月28日（金）

聖書 I 列王3・16～28

聖句 神の知恵が彼のうちにあって、さばき
をするのを見たからである。 28節

神様の知恵を持っているソロモン王を、イス
ラエルの人々は心から畏れ、敬うようになり
ました。ソロモンをとおして、「神様の知恵は、
人間の知恵よりすごい!」とわかったからです。

ソロモンは、神様からの知恵を最大限に用い
ました。そのけっか、人々は神様のすばらしさ
を知ったのです。ソロモンもすばらしいのです
が、知恵をあたえた神様はもっとすばらしい。
神様の知恵がある人は、自分ではなく神様のす
ばらしさを伝える人になるのですね。

祈り 天のお父様、わたしが、自分ではなく、
神様のすばらしさを精一杯伝える人にな
ることができるよう。

6月29日（土）

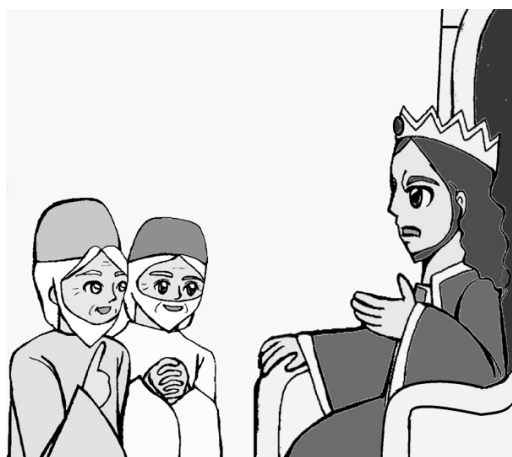
聖書 I 列王3・11～12

聖句 見よ。わたしはあなたに、知恵と判断
の心を与える。 12節

ソロモンにはどうして神様の知恵があたえら
れたのでしょうか。それは、彼が「神様の知恵を
あたえてください」と求めたからです。自分の
幸せを求めないで、王様として人々をみちびく
ための知恵を求めたのです。神様はソロモンの
願いを喜ばれ、知恵をあたえてくださいました。

人生はね、自分の知恵だけでは、もうどうし
たらいいの～! ってことだらけ。これから、そ
ういうことがたくさん起きますよ。だから、神様
の知恵が必要なんです。ソロモンのように求め
て祈りましょう。神様のすばらしい知恵があれば、
かならず、のりこえていけます!

祈り 天のお父様、わたしには神様の知恵が必要
です。あなたのすばらしい知恵にたよって
歩んでいきます!



聖書 I 列王 12・1～19
 テー マ 王国の分裂
 暗唱聖句 怒りを遅くする者には豊かな英知がある。気の短い者は愚かさを増す。箴言 14・29
 目標 思いやりのある優しい言葉を使う者となる。

6 月 30 日 (日)

聖書 I 列王 12・1
 聖句 レハブアムはシェケムに行った。全イスラエルが彼を王とするために、シェケムに来ていたからである。1節

レハブアムはソロモンの息子。彼とイスラエルの人々がシェケムというところで会うことになっています。実は、ソロモンの次の王様になるためには、イスラエルの人々に「王様になっていいですよ!」と、みとめてもらわないといけないんです。

あなただったら、どんな王様がいい? えらそうでこわい王様より、やさしい王様がいいと思いませんか。今週の目標は「思いやりのある優しい言葉」。思いやりと優しさがどんなに大切か、みことばから学びましょう。

祈り 天のお父様、わたしに、思いやりと優しさについて教えてください。

7 月 1 日 (月)

聖書 I 列王 12・2～5
 聖句 父上が私たちに負わせた過酷な労働と重いくびきを軽くしてください。4節

イスラエルの人々は、ソロモンの家来だったヤロブアムといっしょに、レハブアムに会いました。そしてこういいました。「あなたの父上が、わたしたちにたくさんの仕事と税金をはらわせたので、それを軽くしてください。そうしたら、わたしたちはあなたに仕えます!」。

イスラエルの人々は、仕事と税金で苦しんでいることを、わかってほしかったのです。苦しみをわかってくれる、思いやりのある王様に仕えたかったんです。思いやりって、人の苦しみをわかってあげることから始まるんですよね。

祈り 天のお父様、わたしが人の苦しみをわかってあげられる人になれますよう、みちびいてください。

7 月 2 日 (火)

聖書 I 列王 12・6～7
 聖句 この民のしもべとなって彼らに仕え、彼らに答えて親切なことばをかけてやるなら、7節

イスラエルの人々の仕事と税金を軽くしたらよいか? レハブアムは、お父さんのソロモンに仕えていた長老たちに相談してみました。長老たちは、「あなたがしもべのように人々に仕えて、親切に話してあげたら、彼らはずっとあなたに仕えますよ!」とアドバイスしました。ソロモンの時代から人々をみてきた長老たちは、人々の苦しみをよくわかっていたのです。

相手の気持ちをわかってあげて、思いやりのある親切な言葉をかける。そうすると、みんなの心が愛とやさしさでいっぱいになります。

祈り 天のお父様、思いやりのこもった親切な言葉を、わたしにあたえてください。

7月3日（水）

聖書 I 列王12・8～11

聖句 私はおまえたちのくびきをもっと重くする。 11節

あれ？ レハブアムは、せっかく長老たちに良いアドバイスをもらったのに、彼はそのアドバイスが気に入らなかったようです。それで若者たちに相談しましたよ。若者たちは、「父上のソロモン王よりたくさんの仕事と税金をはらわせる！ と言いなさい」とアドバイス。「わたしはソロモンよりえらくて、すごい王様だ！ と見せつけてやりなさい!」ということです。

長老たちとは正反対、思いやりも、やさしさもないアドバイス！ 自分がえらくなることだけを考えると、思いやりってなくなります。

祈り 天のお父様、わたしが自分のことだけを考えると思いやりがなくならないよう助けてください。

7月4日（木）

聖書 I 列王12・12～15

聖句 王は民に厳しく答え、…若者たちの助言どおりに彼らに答えた。 13～14節

へんじをする約束の日、なんとレハブアムは、「あなたがたの仕事と税金を重くする!」とへんじをしました。自分がえらい王様だと見せつけたくなり、自分の気に入った若者のアドバイスどおりにしたのです。しかも、えらそうに厳しく話しました！ もう、おそろしいし、ひどいし、感じわる～い！

レハブアムは王子として育ったので、苦しんでいる民の気持ちがわからなかったようです。ひどい人！ と思ってしまうけど、立場がちがう人の苦しみて、わかりにくいものです。

祈り 天のお父様、立場のちがう人の苦しみを思いやることができますように、わたしを助けてください。

7月5日（金）

聖書 I 列王12・16～19

聖句 ダビデのうちに、われわれのためのどんな割り当て地があるか。 16節

レハブアムのひどい返事に、ヤロブアムとイスラエルの人々の気持ちは最悪。「もう、レハブアムを王様としてみとめない。ダビデの家族には、もう仕えない!」と決めました。カンカンにおこった人々は、ヤロブアムを自分たちの王様にしたのです。ヤロブアム王と、レハブアム王、王国はふたつに分裂してしまいました。

思いやりがない言葉で、こんな大事件がおこってしまうなんて。レハブアムは真っ青です。思いやりがないと、最後は相手も自分も苦しむことになるのです。

祈り 天のお父様、思いやりがない言葉で、相手も自分も苦しむことを知りました。思いやりの大切さがわかって感謝です！

7月6日（土）

聖書 箴言14・29

聖句 怒りを遅くする者には豊かな英知がある。気の短い者は愚かさを増す。 29節

気が短くて、すぐおこってどなったり、人をきずつける言葉をつかう人。そんな人は「わたしは愚かもので～す」と自分から広めるようなものです。レハブアムのように、さびしく、つらい人生になるでしょう。

しかし、すぐに怒らず、思いやりのある優しい言葉を使う人は、神様によるこぼれ、すてきな人だな～って人々に愛されます。自分はどんな言葉を使っているんだろ…。言葉の失敗は、いちばん気づきにくい失敗です。あなたから、思いやりのある優しい言葉がひろがりますように！ 祈って、実行しよう！

祈り 天のお父様、わたしが人をきずつける言葉を使っていたら教えてください。あなたが喜ばれる言葉を使いたいです！